

# 令和5年度 探究学習プログラム「さいたまエンジン」を始動します

## 「さいたまエンジン」とは

中学生



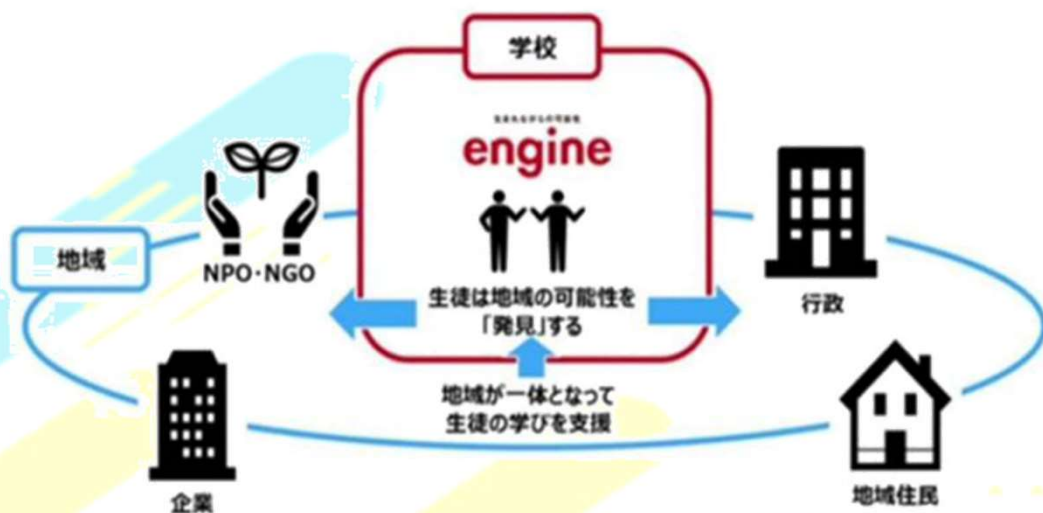
地元企業



地域



新たな価値との出会い



中学生によるビジネス提案を取り入れた探究学習プログラム。

中学生が企業や地域を探究し、年間15回程度の授業を通して、「地元企業の強みや特色」と「地域の課題等」を掛け合わせ、生徒オリジナルのビジネス提案を行うもの。

企業は学校を訪問し、授業を通して生徒のビジネス提案に伴走。

生徒は、このビジネス提案の企画という経験を通じて、自身のキャリア形成において新たな価値と出会う。

# 「さいたまエンジン」を実施する背景

## 社会変化①

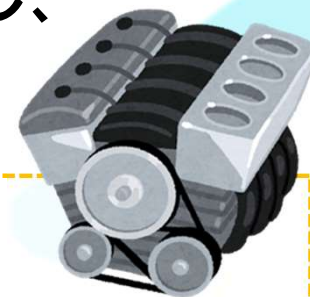
デジタル化の進展等による雇用の変化

## 社会変化②

49%の職業が、将来人工知能(AI)や機械によって代替できる技術的な可能性が高い

※総務省 情報通信白書「人工知能(AI)の進化が雇用等に与える影響」より

学校が社会とつながり、多種多様な職業に触れさせる機会を増やし、AIに代替えされない資質・能力を生徒に身に付けさせること



## 「さいたまエンジン」を実施 (令和4年度~)

子どもたちが、AIでも簡単にとって代ることのできない「起業家精神」、  
「起業家的資質・能力」を身に付けることを目指します。

# 令和4年度の取組

## 実施校（3校）

岸中学校、浦和中学校、  
大宮国際中等教育学校

## 参画企業（5社）

AGS株式会社、株式会社サイサン、  
株式会社タムロン、株式会社デサン、  
武蔵コーポレーション株式会社

## 企画コーディネート等 協力企業（1社）

株式会社教育と探求  
社

## プログラムの主な流れ

### STEP1~3

学校のリソース  
（資源）を探究

### STEP4~6

地元企業の  
リソースを探究

### STEP7~10

さいたま市の  
リソースを探究

### STEP11~13

地元企業のリソース  
×  
さいたま市のリソース  
↓  
ビジネス提案を企画

### STEP14~15

企画をプレゼン

さいたま  
カップ

## さいたまカップ

実施校の代表13チームが集結し、  
最終プレゼンテーションを実施

## R4年度 結果

賞	学校名	チーム名	企画名
グランプリ	浦和中学校	オムハヤシ	清水
準グランプリ	大宮国際中等 教育学校	Every day	児童保育施設の 運営

# 令和5年度の取組

## 令和5年度「さいたまエンジン」プロジェクト

### 【変更点】

- 1 実施校数：3校 → 7校
- 2 参画企業：5社 → 14社

学校と企業の数が増加したことで、「さいたまカップ」のプレゼンが一層熱を帯びることを期待

### 実施校（7校）

R  
5  
}

植竹中学校、片柳中学校、  
与野南中学校、岩槻中学校、  
美園南中学校

+

R  
4  
}

岸中学校、  
大宮国際中等教育学校  
(浦和中学校：R4のみ)

### 参画企業（14社）

R  
5  
}

株式会社佐伯工務店、株式会社三幸製作所、  
株式会社ジアス、株式会社シンミドウ、  
株式会社日さく、東京電力パワーグリッド株式会社埼玉総支社  
ポーライト株式会社、毎日興業株式会社、マレリ株式会社

+

R  
4  
}

AGS株式会社、株式会社サイサン、  
株式会社タムロン、株式会社デサン、  
武蔵コーポレーション株式会社

企画コーディネート等  
協力企業（1社）  
株式会社教育と探求社

# 令和5年度のスケジュール

6月～8月	8月末～12月中旬	12月
学校・企業 合同研修	各学校においてプログラムの実施 ・企業によるリソース紹介 ・生徒によるビジネス企画立案 ・校内プレゼンテーション大会	実施校の代表による 「さいたまカップ」 (12/27)

↓

取材を希望される場合は、指導1課までご連絡ください。

教職員と企業人が協働して「さいたまエンジン」のプログラムに取り組み、模擬ビジネス企画を提案します。

日時 令和5年8月2日（水）  
13：30～16：30

会場 さいたま市教育研究所5階 研修ホール



# さいたま「エンジン」の目指す姿



「未来の創り手をはぐくむ」という高い志を持った  
地元企業と共に「さいたまエンジン」を実施します